

未来に伝えたい「まいばらの水」12選

vol.4



深い山々が育んだ米原の美しい湧き水。

このコーナーでは、「未来に伝えたい」まいばらの水」に選ばれた12か所をシリーズでお伝えしていきます。水道の蛇口をひねれば当たり前のように水が出てくる現代の暮らしの中で忘れられつつある水や水を育む森の大切さを改めて感じていただき、米原の美しい水環境を未来へ引き継いでいくきっかけとなることを願っています。

ケカチの水（上野）

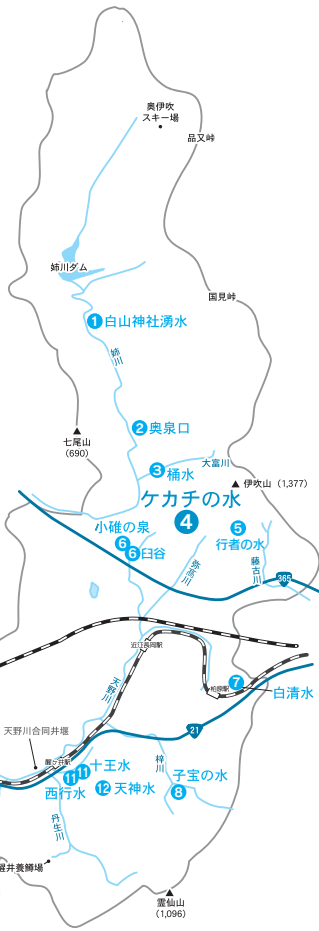
伊吹山麓の洞窟から湧き出ることの水は、古くから地域の人々の飲料水や生活用水として利用されてきました。それぞれの家には水壺と呼ばれるものがあり、そのため壺水とも呼ばれていました。現在も地域で大切に守られ、生活の中で利用されています。

また、昔は山岳修行の行者たちが山に入る前にこの水で身を清め、山中の行場を巡って山頂の弥勒堂を目指したと言われています。その修行の一つに、これまでの罪過を悔い改め、天下泰平などを祈願する「悔過の行」というものがある

ります。また、かつてこの辺りには「お池さん」と呼ばれる泉があったとされ、ケカチの名の由来は「悔過の池」からきているとも言われています。

ここには古くから滝があったという伝承や、あらゆる伊吹山の神を征伐に来た日本武尊が神に敗れ命からがら辿り着き、この水で正気を取り戻したという伝説も残されています。

（硬度110・4 中硬水）



お問い合わせ 経済環境部 環境保全課（伊吹庁舎） ☎58-2230 FAX 58-1630